

# 令和3年 社会生活 基本調査

調査対象 ▶ 全国約 91,000 世帯から  
無作為に選ばれた世帯

調査基準日 ▶ 10月20日(水)

10月上旬から中旬にかけて、調査員が調査をお願いする世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

▶ 社会生活基本調査は、わたしたちが1日どのくらいの時間を、仕事、家事、地域での活動などに費やしているか、また、過去1年間にスポーツ、趣味・娯楽、ボランティア活動など、どのような活動を行ったかを調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的としています。調査結果は、各種行政施策の基礎資料として活用されます。

## 回答 方法



インターネット  
から



調査票 (紙)  
から

▶ インターネットでの回答は、安心のセキュリティ、24時間いつでも都合の良い時間に回答できるなどのメリットがあるためおすすめです。  
※世帯の全員がインターネットで回答した場合には、調査員は紙の調査票を受取りに伺いません。詳しい内容は、社会生活基本調査ホームページからご確認ください▼



社会生活基本調査



問政策企画課 TEL 23-7277



## 調査を装った 詐欺や不審な調査 にご注意ください!

調査員は都道府県知事が発行した「調査員証」を必ず携帯しています。



# 防ごう！家庭内感染

市内でも、新型コロナウイルスの家庭内感染が増加しています。ご家族に感染の疑いがある、または感染された場合の対応や注意点を改めて確認し、家庭内感染の防止にご協力をお願いします。なお、ワクチンを接種した人も感染予防は継続して行いましょう。

## 感染予防の基本から！ こまめな手洗い・うがい



帰宅時、調理前後、食事のほか、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後も忘れずに

## 飛沫感染を防ごう！

- ▶ 換気は定期的に行う
- ▶ 食事や就寝の部屋を分ける



## 接触感染を防ごう！

- ▶ 手が触れる共用部分（ドアノブ・電気のスイッチなど）はこまめに消毒する
- ▶ タオルやコップは共用しない

石岡市の新型コロナウイルス感染症に関する  
予防・生活支援・その他各種相談窓口（医療機関の紹介は不可）  
問石岡保健センター TEL 24-1386 八郷保健センター TEL 43-6655

感染予防・医療相談  
についての詳細は市  
ホームページから▶



# ～身近な危険を知る～ 山地災害

県では、山地災害が発生する恐れのある箇所を「山地災害危険地区」として指定しています。指定箇所は、県林業課のホームページや「いばらきデジタルまっぷ」に掲載していますので、お住まいの地域における危険箇所の確認にぜひご活用ください。

いばらき  
デジタル  
まっぷ▶



県農林水産部  
林業課ホーム  
ページ▶



## 土石流

山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水と共に一気に下流に押し流される現象



**【起こりやすいところ】** 過去に土石流があった。溪流が急で大きな石や大量の土砂がある。上流が山崩れなどで荒れている。

## 山崩れ

雨水が地中に染み込んだり、地震などにより、山の斜面が突然崩れ落ちる現象



**【起こりやすいところ】** ときどき落石がある。過去に山崩れがあった。山の斜面に亀裂や湧き水がある。岩石がもろく、崩れやすい地質。

## 地すべり

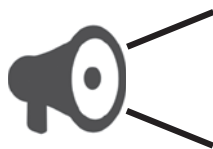
地下水などの影響により、粘土質の土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象



**【起こりやすいところ】** 過去に地すべりがあり、今も少しずつ地面が動いている。山の斜面に亀裂や段差がある。湧き水や地下水が豊富。

## お願い

普段から、家族や地域ぐるみで山地災害の恐れがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目でご確認ください。



## 10月6日(水)午前11時～ 全国一斉情報伝達訓練

▶地震や台風、武力攻撃などの非常事態に備え、全国一斉情報伝達訓練を実施します。この訓練は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた訓練で、市以外の地域でも様々な手段を用いて行われます。

**情報伝達手段：**①防災行政無線 ②メールマガジン ③市ホームページ

**放送内容：**①♪上りチャイム②「これは、Jアラートのテストです」3回  
③♪下りチャイム

岡山県防災危機管理課 TEL 23-7284

## 非常事態発生時の 行動を確認してみましょう

例えば…

- 《大雨特別警報》を想定して
  - ・浸水のおそれがある場合は、上層階や安全な場所の確認
  - ・ハザードマップで危険箇所や避難所の確認など